

(別添1)

No.	15
策定年月	令和5年1月
見直し年月	

# 水田農業高収益化推進計画

山梨県

## 1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

山梨県は、豊富な日照時間と首都圏に近いという地の利を活かし、ぶどう、もも、すももなどの果樹を中心に、野菜、水稲、花き、畜産等、地域の特色を活かした農業が営まれている。

水田については、耕地面積の33%を占め、そのうち62%が主食用米であり、全国的に米の需要が減少する中、本県においても需要に見合った米生産とともに、水田をフル活用した転換作物の産地づくりを推進するため、麦、大豆、加工用米、飼料用米、そばなど土地利用型作物や野菜、果樹などの高収益作物への転換を促進し、転換面積も増加してきている。

今後も主食用米の需要減少が見込まれることから、県では土地利用型作物への転換と併せ、高収益作物の導入を図り、水田のフル活用を推進していく。

## 2. 目標

### (1) 推進方針

需要に応じた米生産の推進に向け、県・市町村の関係部局及び農業団体等との連携により、水田における野菜や果樹等の高収益作物の導入を推進することで山梨県の園芸振興を図る。

当面は、いちごを推進品目として位置づけ、生産基盤・施設の整備や栽培技術の支援を行うことで安定生産を図り、1産地を創出する。

また、需要に見合った米生産を推進するため、各地域の実情に応じた品目の選定・推進を図り、さらなる産地の創出を図る。

### (2) 推進品目

品目名	用途	露地 ／ 施設	選定理由	目標									
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他			
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値		
いちご	加工・業務用	施設	主食用米と比べ単位面積当たりの収益性が高く、水田農業の高収益化推進に適した品目であり、実需者との連携により、加工・業務用として安定した取引が見込まれるため。	0 ha (令和4年)	1.4112 ha (令和7年)	0 kg/ 10a (令和4年)	6,437 kg/ 10a (令和7年)	0 円 (令和4年)	141,714,203 円 (令和7年)			(令和〇年)	(令和〇年)
				ha (令和〇年)	ha (令和〇年)	kg/ 10a (令和〇年)	kg/ 10a (令和〇年)	円 (令和〇年)	円 (令和〇年)			(令和〇年)	(令和〇年)
				ha (令和〇年)	ha (令和〇年)	kg/ 10a (令和〇年)	kg/ 10a (令和〇年)	円 (令和〇年)	円 (令和〇年)			(令和〇年)	(令和〇年)
				ha (令和〇年)	ha (令和〇年)	kg/ 10a (令和〇年)	kg/ 10a (令和〇年)	円 (令和〇年)	円 (令和〇年)			(令和〇年)	(令和〇年)

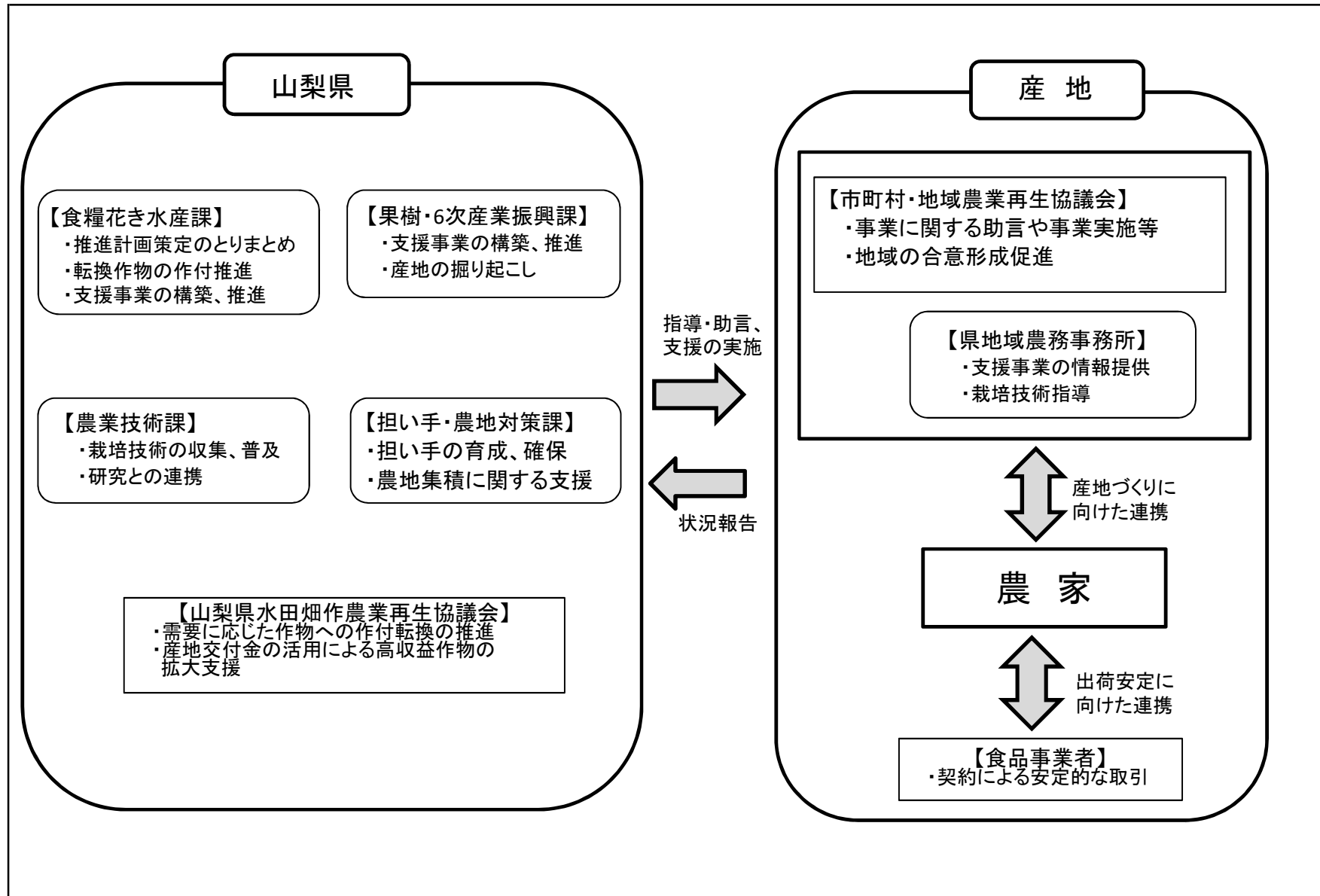
※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。

※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できるかなどの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）

※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

### 3. 推進体制及び役割



## 4. 目標達成に向けた取組

### (1) 品目共通の取組

- ・各関係機関の連携により、密に情報共有を図るとともに、産地への指導、助言、支援を行う。
- ・新たな産地の掘り起こしと地域の特性に適した高収益作物等の産地形成を推進するため、情報収集を行う。
- ・生産基盤の強化及び栽培技術の普及・推進を図り、収益性の高い農産物の生産拡大を促進する。

### (2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
いちご	地域と連携し各種補助事業の活用を図りながら、計画的にハウスを新設することで面積の拡大を行う。	複合環境制御装置や養液栽培装置等の導入によるハウス内環境の調整(長期出荷)、自動防除設備等の導入による病防除の徹底等により、収量の向上を図る。	実需者(食品事業者)との連携により安定供給・販売体制を構築し、販売額の向上を図る。	

## 5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	株式会社シャトレーゼファーム	中央市	

※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

(別添2)

No.	15-001
策定年月	令和5年1月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画  
株式会社シャトレゼファーム 産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	株式会社シャトレゼファーム
構成機関・団体名及び役割分担	<p>The diagram shows the following structure:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>At the top is a box for 株式会社シャトレゼファーム (Shatrazefarm Co., Ltd.).</li><li>An arrow points from this box to a box for 出荷先(食品事業者) (Shipping destination (Food business)).</li><li>Below the company box, two arrows point up towards it, one from the left and one from the right.</li><li>At the bottom, four boxes represent support organizations, each with a list of activities:<ul style="list-style-type: none"><li>山梨県中北農務事務所 (Yamanashi Prefecture Nakai-Nishu Agricultural Office):<ul style="list-style-type: none"><li>計画策定のとりまとめ支援 (Support for plan formulation)</li><li>栽培技術指導 (Cultivation technical guidance)</li><li>支援事業の情報提供、実施 (Information provision and implementation of support activities)</li></ul></li><li>中央市(産業課) (Chuo City (Industry Section)):<ul style="list-style-type: none"><li>支援事業の情報提供、実施 (Information provision and implementation of support activities)</li></ul></li><li>中央市農業委員会 (Chuo City Agricultural Commission):<ul style="list-style-type: none"><li>農地情報の収集 (Collection of farmland information)</li><li>農地集約・集約の推進 (Promotion of farmland consolidation)</li></ul></li><li>中央市地域農業再生協議会 (Chuo City Regional Agricultural Revitalization Council):<ul style="list-style-type: none"><li>経営安定所得対策等の推進 (Promotion of measures for stable income, etc.)</li></ul></li></ul></li></ul>

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地 ／ 施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
イチゴ	加工・ 業務用	施設	中央市 高部地区	0 ha (令和4年)	1.4112 ha (令和7年)	0 kg/10a (令和4年)	6437 kg/10a (令和7年)	0 円 (令和4年)	141,714,203 円 (令和7年)	(令和0年)	(令和0年)
				ha (令和0年)	ha (令和0年)	kg/10a (令和0年)	kg/10a (令和0年)	円 (令和0年)	円 (令和0年)	(令和0年)	(令和0年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。